

平成 25 年 9 月度県内産業景気動向調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

県内の「業界の景況（前年同月との比較）」は、悪いと感じている人が先月（8月）よりも減少しているが、円安によるコストアップで、「収益状況」は悪化していると感じている人が、増加している。

9月には、消費税増税に伴う駆け込み需要増加の報告が木材・木製品製造業、建設業、運輸業からあり、砕石製造からは、7月末の豪雨災害復旧関連で、資材の出荷量が増加したとの報告もあった。

一部の業種で受注量が増えた等、少しずつ上向き傾向の企業が増えて来たとの報告もあるが、消費税増税が具体的となってきた9月では、消費者も慎重な行動をとっているとの報告もあった。

山口県の主要指標 DI 値（平成 25 年 9 月末現在）

※DI 値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、好転：12.5% 悪化：30.0% DI 値：▲17.5% ポイント

売上高（〈増加〉－〈減少〉＝〈DI 値〉）









前年同月比は、増加：23.8% 減少：30.0% DI 値：▲6.2% ポイント








収益状況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI 値〉）


前年同月比は、好転：7.5% 悪化：31.3% DI 値：▲23.8% ポイント

山口県の業種別 DI 値(業界の景況)（平成 25 年 9 月末現在）

 30 以上	 30 未満～ 10 以上	 10 未満～ ▲10 以上	 ▲10 未満～ ▲29 以上	 ▲30 以下
--	--	---	--	---

食料品	織 維 工 業	木材・ 木製品	印 刷	窯業・ 土石製品	一 般 機 器	輸 送 機 器	全 製 造 業
▲42.9	▲50.0	0.0	▲100.0	16.6	22.2	▲50.0	▲15.1
							

卸売業	小売業	商店街	サービ ス 業	建設業	運輸業	全 非 製造業
20.0	▲44.4	▲50.0	▲33.3	20.0	▲28.6	▲19.2
						

全 体
▲17.5


特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	<p>売上は昨年と変わらない中で、現在、お菓子が一番売れる場所は集客のある下関の販売店である。中国ブロックでは、出雲大社周辺は好調の様相。広島県は、菓子博の盛り上がりの継続が課題と考えている。どの県も組合員の減少に歯止めがかかっていない。</p>	パン・菓子製造業
	<p>8月は7月末の豪雨災害の影響と猛暑の出控えにより▲10%と大きく前年を割り込んだ。9月前半は豪雨災害の影響が残り、10%程度ダウンで推移していたが、中旬より回復し、9/30時点の速報値で対前同月比でイーブンの月商となった。(株)宣伝会議刊の月刊誌「広報会議」10月号、巻頭特集「費用ゼロで商品売り込む手法」で当組合の広報戦術が2ページで詳しく紹介された。</p>	水産食料品製造業 萩市
	<p>副原料や資材などの値上げの実行が行われコスト面でも逼迫している。一部製品の値上げを検討するが、販売面で不安。</p>	水産食料品製造業 下関市
	<p>地球温暖化に伴う災害は、年々激しさを増しているため、抜本的な対策が求められる。</p>	精穀・製粉業
繊維工業	<p>傘下企業1社の休業が影響し関連企業も経営が困難になり対策中である。仕事量が減少し9月末で操業資金が不足しており、中国人実習生の移転先を探している。景気も世間で言う程良くないのが実態で、周りの他業種の中小企業でも良いところが全く無いと言ってもいい程である。管内の税理士事務所に話を聞いても景気の良い企業は見当たらないとのこと。中央と地方の格差が一段と大きくなっていることがはっきりしてきている。製造は海外にシフトが一段と進んでいる。</p>	下着類製造業
	<p>集中豪雨によって床上浸水被災の事業所があったが、社員家族やボランティアの支援もあって1ヶ月で復旧し稼働した。日本製の再評価は確実に広がっており、今後はTPP時代に対応してアセアン市場へのアプローチが必要である。</p>	外衣・シャツ製造業 山口市
	<p>秋冬物の生産は終了し、春物の発注は12月から始まるため、例年と同様に、10月～11月は仕事量が少ない。</p>	外衣・シャツ製造業 下関市
木材・木製品	<p>木材価格、住宅着工数に変動はない。</p>	製材業・木製品製造業 山口市
	<p>山陽側では消費税の駆込み需要があり、受注高等も増えているが、山陰側では変化はあまりない。</p>	製材業・木製品製造業 下関市

印刷	昨年よりも多少良い状況だが、例年と同じく閑散期で受注量が減っている。都市圏からの受注の仕事量は回復してきているが、紙材の値上げがあったにもかかわらず、受注価格の低下に歯止めがかからない。	印刷 下関市
	印刷物件の減少により、益々低価格競争に歯止めがかからない。この上増税分の消費税まで負担させられるのであれば、廃業に追い込まれる業者も少なくない。	印刷 山口市
窯業・土石製品	対前年同月比は、主に豪雨災害の復旧関連で、骨材125%、路盤材148%、再生材111%、全体では129%の出荷量となっている。	砕石製造業
	出荷量は、前月比では89%だが、前年同月比では104%と増えている。6地区の内、3地区が前年同月比で増となっているが、前月比で増となったのは1地区のみである。年度後半に向けて、災害復旧関連を含む公共事業に伴う出荷増に期待する。現時点、セメント・骨材等の資材調達に特に問題は生じていない。セメントなど原材料値上げの動きがあるが、生コン価格は総じて安定している。	生コンクリート製造業
一般機器	前月の状況から大きな変化はない。外国人実習生制度についての事業者からの問い合わせが多少あり。	一般機械器具製造業 宇部市
	売上高は微増。	
	金型製造関係の生産状況は、9月の設備操業度は大型金型の受注が一段落したため、9月の受注で今期の受注成績の予測ができるように思う。但し、国内も動きは出て来ている模様だが、来期分等の受注には、さらに、価格競争、短納期の対応が不可欠な状況である。成形製品の動向は、民生部品関係は若干増加傾向にあるものの、年末まで厳しい状況が続くそうである。さらに生産性の効率化や不良品撲滅等の仕組み作りが急務である。	特殊産業用機械製造業
輸送機器	鉄道車両部門は、依然として低水準にあり、下期も厳しい経営を強いられる環境である。その中で、プラント及び精密加工部門は作業量が増加しており、操業度も持ち直してきたが、車両部門分をカバーするには至っていない。	鉄道車両・同部品製造業
卸売業	全般的に昨年度より売上高はやや増加傾向にあるものの、燃料・資材・商品等の仕入れ原価は値上がり、収益確保は厳しい。まだまだ中小企業へのアベノミクスの恩恵には月日がかかる遠い状況にある。	各種商品卸売業 周南市
	太陽光発電等、少しずつ上向き傾向の企業が出て来た。団地内の2社も、倉庫を建て増している。	各種商品卸売業 防府市

	売上高は増加して来ているが、仕入れ価格、燃料費の増加等により、収益の確保が難しい状況。	各種商品卸売業 山口市
	市内量販店への県外業者の納入が更に増している状況で、各業種とも苦慮している。	各種商品卸売業 下関市
小売業	9月は、半期決算期のメーカーも多く、新製品の発売もあり、店頭は季節の変わり目のファンデーションの切替等で賑っている。	化粧品小売業
	回復基調が続いている様子であるが、地区小規模事業者にとっては、足踏み状態が続いている。小売業では、一般的に高齢化や大型店の攻勢により相変わらず苦戦が続いている。来年4月から2段階で消費税がアップされるが、消費の落ち込み等の懸念材料が大いに有り、レジなど売り場対応にもコスト面を含め不安があるので、政府の景気対策に期待したい。サービス業では、高齢者によるカラオケ店の利用者が増えつつある。焼き肉の新店舗の建設も開始され、飲食店への客足が伸びている。土木業では、防衛省などの公共工事が出ているが単価的には厳しい状況が続いている。建築業では、消費税アップによるマイホームの駆け込み需要により好況感があるが、中小企業には、受注をこなすだけの人手がないため、大手ハウスメーカーに仕事を持っていかれている。	各種商品小売業 岩国市
	厳しい残暑のため、人出も少なく、秋・冬物も出鼻を挫かれた模様。	各種商品小売業 山口市
	今月も売上、客数とも前年割れという厳しい状況は続いている。	各種商品小売業 長門市
商店街	当組合では、直接イベントを開催しなかったが、近隣商店街のイベントの開催により来客数は多かったように感じる。しかしながら、駐車場の利用者数と組合員店舗の売上は、少し減少している。	山口市
	アーケード改修工事とアーケード入口のUFOビル解体工事も補助金活用で始まる。解体後の土地利用について、今後、話し合いが行われる。10月のイベントは、「秋の萩焼まつり」が10/11～14、「ハロウィンたまち」が10/19～20と行われる。	萩市
サービス業	例年、9月はあまり動きのない月である。	美容業
	消費者は、思っている以上にお金を使わなくなっており、組合員の現況は、長い間、変わらず悪い。消費税の増税は、物価を引き上げ、困る点もあるが、何でも安だけの社会ではいけない。サービス相当の対価を支払う社会の流れになることに期待している。	理容業

	<p>ハイブリッド車の保有台数が全国で300万台を突破し、山口県においても4万台を突破した。近年急速に普及しており、メーカー各社も新型車を次々投入していることから、今後大幅に増加することが予想される。</p>	自動車整備業
	<p>駆け込み需要が少しはある様子で、前年度と比べると少し好転している。ただ、楽観はできない。</p>	
	<p>状況は、先月と変わらず、新しいビジネスモデル構築に模索している。</p>	情報サービス業
	<p>なかなか光が見えない。</p>	屋外広告業
	<p>9月も8月の流れで好調という期待があったが、前年を下回る結果の事業所が多かった。宿泊施設では、宿泊が伸び悩み、連休があるにもかかわらず、苦戦を強いられた。宴会は、前年並みであったが、最大の売上である肝心の泊り客が減少。観光施設も、新しいものがオープンしたものの、期待していた波及効果がなかった。消費税アップなど厳しい現状が、具体的に見えてきたことで、行楽気分が減少しているのか、観光地としての魅力が感じられないのか判らないが、下関市内の同業者との会話は明るい話題がない。その中でも、下関地域での広域観光を模索するなど、新規の顧客を獲得する動きも始まっており、今後の下関地域の情報発信に期待を寄せている。</p>	旅館業 下関市
	<p>9月の入浴者数は前年同月期と変わらず。売上高、収益も変わらず。4月からの好調さに陰りが見える。夏の猛暑、山口県の災害など影響か。直接の災害はなかったものの、県内の災害情報により客足に影響したと思われる。水道代等の公共料金の値上げ、重油代の高騰は利益に影響。資金繰りは今月の債務返済月により影響した。</p>	旅館業 長門市
	<p>目立った変化は見受けられない。地元の消費、県外からの観光客も目立つものはない。地域的にも、特に売上に寄与するものもない。全国的なイベントもあるものの目立つ効果は無い。業界としては、すぐに効果はないものの「食」として売り出すより「食材」として売り出し、その後の強化を狙う方が得策かもしれない。</p>	飲食業
建設業	<p>中電への工事申請は8月182件（当市部分134件）、前年同月227件（同185件）。太陽光発電への申請33件、オール電化申請67件（前年は太陽光32件、オール電化24件）。LED街路灯への切替・新設申請は43件（前年65件）であった。</p>	電気工事業

	公共工事は、平成25年度工事の発注が本格化して、大幅な増加となっているが、入札額は、相変わらず低調で、経営改善には至っていない。消費税がらみの駆込み需要は、住宅工事にはあるが、職人・資材とも確保が困難で、需要に対応しきれていない。建築工事の耐震工事等は増加しているが、職人の確保が困難となり、採算が取れない状況にある。	土木工事業 柳井市
	公共工事の発注はあるが、低入札の為、利益が見込まれない状況。	土木工事業 下松市
	今月は5件の山口県発注工事の入札が出来た。	土木工事業 周南市
	25年9月の受注高は、対前年同月比95%。今年度の累計は、対前年同月比で169%。	土木工事業 萩市
	8月の状況と同じく、公共工事は充分にあるが、仕事をとっても施工する人員がいない状況が続いている。10月より塩ビ管が10%の値上がりの予定。	管工事業
運輸業	輸送品目にかかわらず、国内向け輸送が活発化して、中旬以降、車両不足となった。原因としては、円安・消費税増税による価格アップ前の駆込み受注・発注であるが、未だに継続している。輸出は横ばいの状況。油関係は、1.1円の値上げ。月毎の値上げは、中小零細運送業者に重くのしかかっている。収益状況は前年同月比でプラスマイナスゼロである。	一般貨物自動車運送業 下松市
	輸送稼働は全体的には前年同月比10%程度の伸びだが、荷主によって極端なバラつきがあり、流動的である。自動車関連製造業に於いて、生産拠点を来年度より一部海外に移管することが決定しており、稼働減は避けられない。	一般貨物自動車運送業 防府市
	例年であれば9月、10月に向けて少しずつ荷動きが活発になる傾向があるが、今年は鈍いようである。倉庫の仕事は安定している。軽油価格は高止まりしている状態が続いている。	一般貨物自動車運送業 宇部市
	8月に続き荷動きが宜しくない。天候のせいだけでなく、景気回復の度合いが鈍いように感じる。当組合もETC事業で500万円を割り、手数料が0円であった。燃料はやや値下がりを見せているが、SSで1リッター130円となっている。景気回復が足踏み状況であるが、運行は、無事故・安全運行を強く指導している。	一般貨物自動車運送業 下関市

	<p>タクシーチケットの取扱い金額は、前年同月比▲2.9%（平成25年8月1日～9月20日分）となり、減少幅は少なくなったが、昨年6月以降の減少になかなか歯止めがかからないでいる。8月1日～31日分は▲3.7%減少、9月1日～20日分は▲1.7%となった。当組合の取扱いは、光市，下松市，周南市，防府市の地域。防府市は前年より若干増加、周南，下松市はほぼ前年並みの取扱だが、光市の地区が減少している。燃料のLPGについては、CP（通告価格）と為替に連動して変動するが、前月分よりCPが上昇し円安に進んだため、9月のタクシー会社の購入単価は8月より+2%上昇、前年9月分に比べ+15%となった。公定料金で容易に収入の増加が見込めない業界において、燃料価格の高止まりは、組合員であるタクシー会社の経営を苦しめ続けている。大都市では景気上昇との事ですが、地方の個人消費は一向に回復しているように思えない。タクシー事業が特別厳しいのかも知れないが、今後、消費税の増税によって、より厳しい景況になる事が大いに懸念される。</p>	一般旅客自動車運送業
--	---	------------